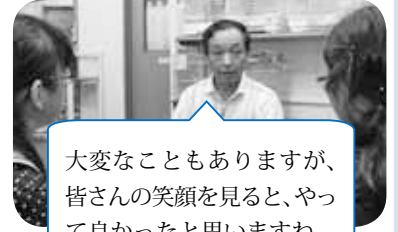


北 24 条商店街

札幌で一番インターナショナルな商店街を目指して

留学生などが多く住む土地柄を生かして、外国人にも商店街に来てもらおうと新たな取り組みを進めています。11月1日には、外国人の住民を招いて、各国の食べ物や文化、音楽などを紹介してもらう「に～よんインターナショナルカフェ」を初開催。各店の商品やサービスなどの説明を盛り込んだ外国語（英語・中国語・韓国語）の地図の無料配布も計画中です。

北24条商店街振興組合の
としまあきのぶ
小泉 昭信理事長にインタビュー



大変なこともあります、皆さんの笑顔を見ると、やって良かったと思いますね

地域に根付いたさまざまな取り組み

同商店街と町内会や地域の飲料店協会が協力して立ち上げた「スローライフ・イン・に～よん実行委員会」を中心に、夏祭り「ノースロード24フェスタ」の開催や地域美化活動など、地域に根差した活動を行っています。



ノースロード24フェスタ ▲



佐々木さん

最近外国の方も増えてきているのでイベントなどをきっかけに、外国の方も商店街に来てくれたらいいと思います

あ さぶ商店街

麻生商店街振興組合事務局（麻生町6）
☎707-9923

人と人をつなぐ場所をつくる

麻生商店街振興組合が中心となり、食と買い物を通じて子どもから高齢者までが交流できる場をつくろうと「あさぶおすそわけマーケット」を今年初めて企画。麻生をはじめ、新琴似や石狩など麻生とつながる周辺地域からも多くの出店者が参加し、7月から4回にわたって実施しました。当日は野菜や手作り作品のお店が並び、会場はとてにぎわいました。すでに来年度の実施に向けた検討も始まっています。

麻生商店街振興組合の
ならまさひこ
事務局局長にインタビュー



地域の方々と一緒にできることは何かを考えて取り組んでいます



▲ あさぶおすそわけマーケット

若い世代と一緒に進める取り組み

藤女子大学と一緒に立ち上げたコミュニティカフェ「麻生キッチンリあん」では、同大学の学生がランチを出したり、ひとり親家庭の子どもたちなどに勉強を教えたりしています。



麻生キッチンリあん ▶

商店街とまちを盛り上げるために、学生や地域の人たちも一緒になって、いろいろな取り組みをしていて驚きました！



光山さん

編集後記

よしき ゆか 吉木 優香 藤女子中1年

取材で分かったことをまとめる行程では、どんな文にしたら分かりやすいか考えるのが大変でしたが、普段できない経験ができました。

いけがみ さえ 池上 冴 北海道教育大学附属札幌中1年

わくわくしながら取り組みました。一眼レフを触ったり、名刺交換をしたり、普段できないことを体験する良い機会になりました。



みつやま のりか 光山 範香 上篠路中2年

「広報さっぽろ」の1ページを作るために、多くの取材をしていたことに驚きました。普段あまり読まない人にも読んでほしいと思いました。

ささき いおり 佐々木 一織 篠路中1年

一眼レフを触るなど普段あまり縁のないことに挑戦し、とても貴重な体験になりました。作り方も分かったので、より「広報さっぽろ」に興味が増えました。